

富士重工業株式会社
2012CSRサイトレポート

埼玉製作所 (産業機器カンパニー)

事業概要 (2012年3月31日現在)

所在地	〒364-8511 埼玉県北本市朝日4-410
土地面積	143,438m ²
建物面積	92,061m ²
従業員数	441人
主な生産品目	ロビンエンジン、エンジン発動機など



トップメッセージ



執行役員
埼玉製作所所長
上野 康男

産業機器カンパニーでは、スバル発電機、投光機、ポンプなどの製品や、土木・建設機械、農業機械などに搭載する汎用エンジンを製造しています。昨年の震災時には私たちがつくる製品がいかにか社会にかかわり且つ重要かを再確認いたしました。

当社製品に誇りを持つとともに社会に役立つという企業責任を果たしていきたいと考えています。

さらに、私たち産業機器カンパニーは製品の開発から廃棄にいたるまでのすべての活動において地球環境保全のため「地球温暖化防止」、「省エネルギー」、「廃棄物や環境負荷物質削減」を積極的に推進し人々に信頼される企業を目指します。

地域社会とのかかわり

ピカピカ北本お任せプログラム

産業機器カンパニーは毎月1回、従業員による工場周辺の美化・清掃活動を行っています。平成23年度も酷暑時期を除いて毎月実施し、多数の従業員が参加しました。



公立高等学校5年経験者研修受け入れ

埼玉県の公立高等学校で、教諭職5年を経過した先生の研修を毎年受け入れています。

産業機器カンパニーの概要説明・工場見学に加え、企業環境、企業が望む人材などの講義および当社のEMS活動の説明も行って、先生方の見識を高めていただくお手伝いをしています。



北本市内中学校の職場体験教育受け入れ

産業機器カンパニーは、北本市内の中学校が社会教育の一環として行っている職場体験の受け入れを行っています。受け入れた生徒さんには3日間、受付業務のお手伝いや、部品製作の実習など仕事の体験をしていただいています。



その他

- 小・中・高各学校の工場見学受け入れ
- 毎朝、通学の交通指導などを行っています。

交通安全講話会

鴻巣警察交通指導課に協力いただき、交通安全講話会を開催しています。



環境保全の取り組み

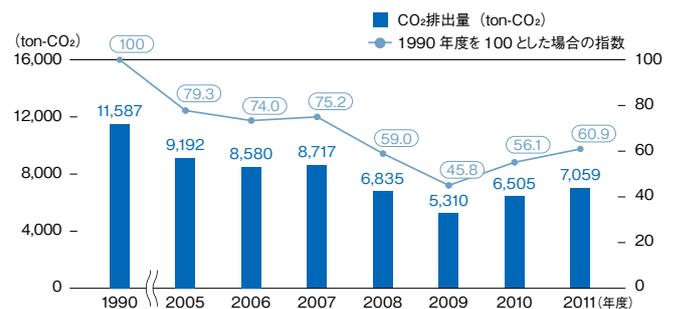
グリーン調達活動

産業機器カンパニーは、サプライチェーンを含めた環境マネジメントシステム構築と環境負荷物質の削減を引き続き推進しています。外部機関による認証取得（ISO14001・エコアクション21等）を基本としたEMS構築については100%構築体制を維持継続して行っており、新規お取引先を含めた2012年度対象の137社に取得していただいています。環境負荷物質削減については、EU指令等の各種法規への対応を順守するため、各種調査および環境負荷物質の削減を継続して取り組み中です。

地球温暖化防止、省エネルギーへの取り組み

震災復興、タイの洪水等の影響により、高操業となったためCO₂排出量は対前年比8.5%増となってしまいました。しかしながら、ほぼ同程度の生産量であった2007年度比でCO₂排出量は15%程削減できており、改善による削減が推進できていると考えています。今後もさらなる改善を進めエネルギー使用量の削減を図り地球温暖化防止に努めていきます。

CO₂排出量推移



ゼロエミッションへの取り組み

ゼロエミッションの継続と廃棄物発生量削減を主な取り組みとして活動を行ってきました。尚、廃棄物発生量が対前年で増加していますが、生産量の増加によるものでありほぼ同程度の生産量であった2007年度比で廃棄物発生量は19%程削減できており、改善による削減が推進できていると考えています。今後も2003年度に達成したゼロエミッションを継続していくとともにさらなる廃棄物削減に取り組んでいきます。

廃棄物発生総量と埋立処分の推移



公害防止への取り組み

2011年度も自主測定を実施し、規制値超過の無いことを確認し、北本市に報告を行い規制値厳守につとめています。
また、地域社会との共生や緑豊かな自然環境を維持していくため、排出ガスや排水の管理、環境リスク低減などに取り組み、環境事故や公害の発生を防止するための活動を推進しています。

2011年度の環境関連測定結果

大気・水質すべての測定結果は、法令はもとより法令よりも20%厳しい自主基準値を設定し、取り組んでいます。

■ 水質測定結果

下水道放流、北本市条例

項目	規制値(県条例)	自主基準値	最大値	最小値	平均値
pH	5～9	5.4～8.6	8.5	7.3	8.0
BOD	600	480	220	86	129
SS	600	480	130	29	87.4
n-ヘキサン抽出物質(動植物油)	30	24	9.6	3.2	5.3

【記号】… pH:水素イオン濃度、BOD:生物学的酸素要求量
SS:水中に浮遊または懸濁している直径2mm以下の粒子状物質
【単位】… pH除きmg/ℓ

■ 騒音・振動測定結果

項目	測定時間帯	規制値	自主基準値	測定数	測定値
騒音関係	朝、夕	50	49	1	37～49
	昼	55	54	1	41～51
	夜	45	44	1	41～44
振動関係	昼	60	59	1	32
	夜	55	54	1	30未満

■ PRTR対象化学物質の取扱量、排出量など

0.5ton/年以上の取扱物質を記載しております。 ※1は特定第1種化学物質です。

【単位kg/年】

物質番号	化学物質名	大気排出量	水域排出量(公共用水)	移動量(下水道)	移動量	消費量
40	エチルベンゼン	1345.50	0	0	0.00	1334.96
63	キシレン	5704.60	0	0	0.00	5656.37
188	N,N-ジシクロ	11589.00	0	0	11589.00	11589.00
224	1,3,4トリメチルベンゼン	3008.80	0	0	0.00	2998.66
227	トルエン	9691.90	0	0	0.00	9588.00
392	n-ヘキサン	3814.70	0	0	0.00	3802.18
400	ベンゼン ※1	642.20	0	0	0.00	611.46
合計		35796.70	0.00	0.00	11589.00	35580.63

埼玉県有害化学物質
0.5ton/年以上の取扱物質は発生していません

沿革

- 1943年 3月 中島飛行機 大宮製作所開設、海軍機体生産開始
- 1946年 6月 富士産業(株) 大宮工場、船外機エンジン生産開始
- 1950年 8月 大宮富士工業(株) 設立
- 1953年 7月 富士重工業(株) 設立
- 1970年 2月 ロビンエンジン生産累計100万台突破
- 1985年 7月 ロビンエンジン生産累計1,000万台突破
- 1995年 4月 埼玉製作所稼働開始
- 1999年 5月 埼玉製作所サイトとしてISO14001認証を取得
- 2002年 3月 埼玉製作所ゼロエミッション達成
- 2010年 3月 富士重工業としてISO14001統合認証を取得

▶ お問い合わせ先

産業機器カンパニー 総務課
TEL 048-593-7755 FAX 048-593-7790